

## 子ども達が安全安心に 暮らせる生活環境を

民主市民クラブ 興津 秀憲

興津) スクールカウンセラーが市内中学校に週一回配置されている。子ども達の学習環境、生活環境創りに非常に有効であると判断する。これを、小学校10校に広げる事はできないか。

教育長) 長期総合計画にのっとり、来年度以降速やかに小学校に配置できるようにしていく。

興津) 現在の中学校のカウンセラーにご両親が直接相談する事はできるか。

教育長) 可能である。

興津) 学校ボランティアさんの協力をいただき、環境安全のために協働していただけたらどうか。

教育長) 現在でもボランティアさんのご協力をいただいている。各学校の実態、方針と共に学校教育の多方面に生かさせていただきたい。

その他、市役所通り・戸倉通りのガードレール整備について。保育園待機児について。ドッグランについて。市HPについて等質問した。

## 中学校給食の10月実施へ向けて 万全の準備を

市民サイド 釜我 健二

問) 給食における①地場野菜の使用、②容器の改善、③ご飯量の調整についての結論は。

教育部長) ①使用できるとの回答、②食欲のわく容器に替える、③満足な方法を模索したい。

問) 各学校での給食基本方針、計画づくりは。

教育部長) 小学校同様(10月までに)実施する。

市役所の場所の決定は市民合意をもとに

問) 耐震調査で、市庁舎は著しく危険と判明した。安全な仮設庁舎等へ全職員の同時移転を。

総務部長) 同時期の移転を検討している。

問) 私は市役所の建設場所は、周辺市民のくらしと営業を守るためにも、現在地とすべきと考える。市は、場所については現在地か泉町としているが、まず現在地の市民との合意が必要だ。

政策部長) それを認識し、踏まえて進める。

問) 北口再開発と庁舎建設は財政上両立可能か。

政策部長) 財政上、両立する前提で進める。

## 「5つの政策提言」の実現へ向けて

民主市民クラブ 三葛 敦志

Q. 知事選・市議選開票時間→2時間切った。

Q. 入場整理券発送遅い。期日前投票充実を。→公選法上告示後となる。改善を図りたい。

Q. 開票途中経過HP公開→できることから。

Q. 選挙公報の視覚障害者への配慮について→朗読グループにご協力いただいた。

Q. 歩きタバコ実態の再調査を→調査したい。

Q. 北口再開発の看板設置を→実現させる。

Q. 国分寺駅エレベーター設置の看板掲示を。→JRが年明けにも設置すると思う。

Q. 市政資料の市民の立場での情報公開を。

→駅前図書館分館の充実、HP充実を図る。

Q. コミュニティスクールで学校・地域連携を→新しい試み。モデル校も含め研究したい。

Q. 小金井市とのごみ処理連携→順調に進める

Q. 緑被率向上の各部署連携が不十分だ。

→事務分掌の整理が不十分。整理したい。

## 投票率アップと 有権者の利便性を

国分寺・生活者ネットワーク 梁川 律子

選挙公報配布日と期日前投票日の整合性や選挙関係経費の使い方など様々な工夫で抱えている課題が解決できると考える。そこで

問) ①ひかりプラザで行われている2日間の期日前投票日を4日間に増やすこと

②他市の例にならい投票用紙の隅切りを行い、開票時間の短縮でコスト削減を

③都知事選と市議選の入場整理券は同一封筒で1回送付で済ませよ

④投票所設営などは地域の若者を雇用し、選挙に関する意識を高める工夫を

⑤新成人に送られている15センチの定規は現状には合わない。その経費で中学校での模擬投票を行うなど事例の研究を

選管事務局長) 選挙管理委員会で検討する。

他、地域防災。高齢者保健福祉計画づくりは市民参加で。外国籍等の人々への支援について。

## 地域と学校を結び 放課後子どもプランを

国分寺・生活者ネットワーク 多良 京彦

問) 学校給食の残さのほとんどが焼却処理されているが、堆肥化し学童農園や花壇、食材提携農家で使用することで環境教育に役立てるべき。

環境部長) 使いやすい堆肥化処理機の選定、手法など検討し、導入していきたい。

問) 4月から特別支援教育がスタートしたが、まずは「知ること」が支援の一步。理解啓発に役立つリーフレットの作成、市内全校配布を。

保護者の「気づき」の一助にもなると思われる。

教育長) 市内の取り組みが一目瞭然で分かる資料を配布するよう来年度に向けて検討したい。

問) 放課後子どもプランが9月から市でも始動するが各校のコーディネーターは現場の核とも言える。熱意を持って子どもを中心に学校、PTA、地域をつなぐことのできる方の人選を。

教育部長) 大きな課題である。この事業が成功するコーディネーターを探していきたい。

## 働く若者へ、市として 出来る限りの支援を

日本共産党国分寺市議団 幸野 おさむ

問) この間、生活が苦しい、家賃が払えないワーキングプアやネットカフェ難民の問題が、大きな社会問題に。①この実態を市としてどう認識しているか? ②東京仕事センター(労政会館内8月～)との連携を。

答) ①大変心配している。国や都の雇用施策に対し市長会を通じて要望していきたい。②今後とも密接に連携を保っていきたい。

問) 恋ヶ窪保育園の本園舎開園は、旧保育園跡地活用も含め、必ず平成21年4月に!

答) 今は土地問題の最終決着に全力を尽くす。

問) 新設光町学童保育所は保護者の意向を十分に取入れた上で結論を!

答) 全員一致は難しい、まず粛々と進めていく。

問) ぶんバス東元町ルートの朝の増便を!

答) 増便の必要性については認識しているが、駅南口バス停の課題について検討していく。

## 少額所得者の市民税免除を

日本共産党国分寺市議団 川合 洋行

問) 住民税が増加し、くらしを圧迫している。生活保護基準以下の収入で、保護を受けずに住民税を払っている人数と納税額は。

総務部長) 約8,500人、市民税で約1億9千万円。

問) 都民税1億2千万円と合わせて3億1千万円になる。生活保護は憲法25条の「健康で文化的な最低限度の生活」費だ。当然、生保受給者は非課税である。同水準の方の市民税の課税を免除するよう求める。

市長) 憲法の規定実現は国の責務であると思う。自治体が行った場合はその施策を望む人たちが流入してくる。

問) 自治体の仕事は「住民の福祉の増進」のためにある。地方分権からも市民税の範囲を市が決めて何の不都合があるのか。

市長) 都や他の市の動向を見極めながら対応を考えてみたい。

## 教育政策・ごみ減量対策 などについて

日本共産党国分寺市議団 やなぎ 孝義

【就学援助費の支給方法改善について】

問) 学期ごとに後払い支給をしているやり方を改めるべきではないか。

教育部長) 保護者の声を聞いておらず不明な点はあるが、今の方法を続けたい。

※制度の趣旨に沿う改善を再度求めました。

【戸別収集によるごみ減量の成果について】

問) 可燃ごみの排出量はどうなっているか。

環境部長) 減量が進んでいる(資料では前年比約9%減)。市民の協力の賜物と思う。

※家庭の可燃ごみはピーク時に比べて2割以上減量されていることを指摘。基本的な行政サービスである家庭ごみ収集の有料化はやめるように求めました。

《その他、全国一斉学力テストの問題点と今後の対応、中学校給食での地場野菜活用などについて質問しました》

## 中学3年までの 子ども医療無料化を都制度で

日本共産党国分寺市議団 中山 幸子

問) 子ども医療費の無料化は、20年前から共産党(国分寺市議団)が取り上げ、この10月から入学前全ての子ども医療費が無料になる。

①都知事は中学3年までの医療費無料を公約。都制度として実施させる決意はあるか。

市長) 趣旨は理解し、対応は十分に検討する。

問) 必要なサービスが使える福祉の改善を。

①介護保険改正で軽度者への介護ベッドなどの取り上げは、利用者などの是正の声に押され、厚生労働省も後追いで対応した。市の対応は。

福祉部長) 必要な方に給付(利用)する。

②特養ホーム待機者への対応と今後の計画は。

福祉部長) 6月中に調査を着手。現計画は49床。

③自立支援法は利用者や施設等が深刻な状況に。応益負担の撤回と障がい者などの実態調査を。

市長) 国の激変緩和の延長を要望する。運営協議会で把握しつつ、実施に向けて協議する。